

おかげ様で、国政活動と全国訪問と多忙な日々を送らせていただいています



## 11月15日 JA青年部によるTPP反対の国会前座り込みを激励

## 10月22日 福島県・JAそうま 管内を視察

A close-up photograph showing a person's hands, one wearing a dark suit jacket and the other a white shirt cuff, holding a small, round, brown object between them.

2月8日 党のTPPの対応方向を議論する  
「外交・経済連携調査会」で発言

農業

意のを  
謝

## 参議院比例選挙の傾向 「政策のプロが必要」

選挙コンサルタント  
(社)日本選挙キャンペーン協会理事

卷之三

対して参議院の比例議員には高度な専門性が求められている。業界から推薦されて出てくるのだから、関連行政や政策を深く知らないと話にならないからだ。医師会等、各労働組合、建設業…、勿論 J.A.もそうだ。生き延びて行くタレント議員だつて、推薦団体を徐々に取り入れながら、少しづつ力を蓄えていく。

夫なのだろうか。マスコミは「族議員」などと言つて忌み嫌つていたが、それは利権を生んでしまうからであつて、現在の政治資金規正法と、新たなしかるべき規制を作り上げて、眞の専門議員を選ぶことができれば、「族議員」大いに結構ではないか。

夫なのだろうか。マスコミは「族議員」などと言つて忌み嫌つていたが、それは利権を生んでしまうからであつて、現在の政治資金規正法と、新たなしかるべき規制を作り上げて、眞の専門議員を選ぶことができれば、「族議員」大いに結構ではないか。

日本の政治家が小粒になってしまった。それは衆議院小選挙区の影響だ。小さなエリアで51%の票獲得を目指す選挙では、政治家は全ての政策や案件を浅く広く網羅する必要に迫られる。選挙の事を考えると徐々にスケールは小さくならざるを得ず、徐々に薄っぺらくなっていく。まして然性が全くない。突出した専門議員である必

比例議員だと気づいている  
政治家は果たしてどの位い  
るだろうか。

弱体化、縮小化の傾向に  
ある団体は、徐々に候補者  
を出せなくなっている。候  
補者を出せなくなった団体  
は、政策協定を結んだ候補  
者を推薦する等の活動を  
しなければ、影響力はます  
ます衰えて行くだろう。

専門議員が少なくなり、  
今後の日本は本当に大丈

選挙の争点にまでして参加を強行しようとした野田政権に、国民は「ノー」を突きつけたのです。

一方、自民党はTPPについて「『聖域なき関税撤廃』を前提にする限り、交渉参加に反対する」など6項目の公約を掲げ、大勝しました。この方針の決定には、私も当時の農林部会長として原案作成からかかわりました。絶対に守らねばなりません。衆院選で「TPP絶対反対」と訴えて当選した議員も数多くいます。国民党との約束を裏切れば、民主党の二の舞です。夏の参院選で国民党から手痛いしつぺ返しを食らうでしょう。

心強いのは、衆院選後、私が事務局長を務める党の議員連盟「TPP参加の即時撤回を求める会」に、多くの議員が新たに加入了ことです。会員数は党の全国会議員の6割を超えることになります。会合には立錐の余地もないほど議員が集まり、皆、TPPに対する強い懸念を持っています。

それにもかかわらず、経済界やマスコミは相変わらず、TPP参加を求めています。政権が変わり、TPPに対する姿勢も変わったことを理解していないかのようです。

日本農林漁業のため、  
世界農林漁業のため。

A composite image featuring a portrait of Yamada Junya on the left and a large block of Japanese text on the right. The text is a formal message from Yamada, expressing his continued dedication to his work after being relieved of his duties. The font used for the text is a bold, black, sans-serif typeface.

に携わりました。ともに戸別所得補償制度に代わる制度です。26年度は、取り組みが始まり、現場の混乱回避で議論していきます。

ますが、まだまだやらなければならぬ仕事が山積しています。東日本大震災や原発事故からの農林水産業の復旧・復興もそうです。

今、参議院の全国比例区には、農林水産業を代表する立場の議員が私しかいません。私が農林漁業者の声を、国政の中でしっかりと代弁していかなければどうなるのだろうと、よく考えます。そのたびに、日本の食と農のため、これからも頑張らなければならぬとの決意を新たにします。

昨年8月に早々と、自民党から夏の参院選候補の公認を受けました。また全國農政連をはじめ、多くの推薦もいただいています。現在、これまでのお礼と、これから私の決意を聞いていただくため、全国を回っています。顔を見かけましたら、ぜひとも声をお聞かせください。さらに政治に反映できるよう、全力を尽くします。夏の決戦に向け、応援をよろしくお願ひいたします。

# 日本の農林漁業のため、 これからも頑張り続けます

山田俊男

に携わりました。

ますが、まだまだやらなけ